

2013 アートマイル国際交流壁画共同制作プロジェクト 報告書

日本学校名 [安城市立安城南部小学校] 担当教諭名 [加藤 靖子] (6年3組 37名)

交流相手国 [タイ]

海外学校名 [Plearnpasa Language School] 担当教諭名 [Somrat Bureerat]

■実施教科・時間数について教えてください。

	教科	単元名	時間数
アートマイルに関連した 実施教科・時間数	総合的な学習の時間	つながろう 世界の仲間たち	70
	国語	ふるさとの良さをしょうかいしよう	6

■作品について教えてください。

題 (テーマ)	わたしたちのまち
絵に込めたメッセージ	自分たちの住んでいるまちのことを教え合い、その後、自分たちの住んでいるまちの自慢や、自分たちのまちへの願いをこめて描いた。
	

■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none"> 絵を描くときに「相手国の子とつながる」ということを意識して取り組むことができた。 一つの作品が出来上がったとき、子どもたちはつながることの嬉しさや喜びを感じることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> 絵の構図を決める際、日本側が上手く進行することができず、かなり進度が遅れた。 もっと情報交換をしてテーマや構図を決められたらよかった。

■アートマイルの活動を周りにお知らせしましたか？ 周りの反響はどうでしたか？

担当教諭や子どもたちによる広報	校内・保護者や地域の方からの反響
卒業式の式場内に壁画を展示した。 地域の新聞「安城ホームニュース」に掲載していただいた。	他学年の児童は、絵の大きさ、外国の子とともに描いたことに驚き、興味深そうに鑑賞していた。多くの保護者は、子どもたちがこの取り組みを成し遂げたことを喜んでくださった。卒業式で展示したことで、地域の方、保護者、本校職員や在校生に取り組みを紹介できたとともに、賞賛された。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科
導入	4月 ～ 11月	<ul style="list-style-type: none"> 掲示板係や映像係、アート係、郵便係など、活動しやすいよう各係に分かれ、それぞれの活動に取り組む。 掲示板を使って英語で自己紹介をしたり、普段の学校生活の様子を書き込んだりして交流を深めた。 相手校も自己紹介、学校生活の様子を掲示板で教えてくれた。 	<p>学校の紹介を動画で送ったり、自分たちの学校生活の様子を伝えるため、自分の言葉を一生懸命英訳していた。</p> <p>慣れない英語を使いながらも、一生懸命自分の好きな物や好きなことを伝えようとしていた。</p> <p>タイの子たちの学校生活に興味をもっていた。</p>	総合30
情報収集	11月	<ul style="list-style-type: none"> 国語「ふるさとの良さをしょうかいしよう」をもとに、インターネットやパンフレットなどで地域の情報を集め、掲示板に情報を掲載した。 	自分たちの地域と相手国の地域の違いに驚いていた。	国語6 総合8
テーマ検討	12月	<ul style="list-style-type: none"> 共同制作壁画のため、掲示板に簡単な構図や下書きを描いて提案。 掲示板を使って意見交流をしながら、構図を考えた。 	相手の子と一つのものを描きたがった（今回はハートの右半分を日本側が描き、左半分を相手校が描いた）。自分たちの思いが伝わるよう、構図を考えていた。	総合10
制作	12月	<ul style="list-style-type: none"> 絵の制作 	どの子も「タイの子たちに送るもの」という意識をもち、熱心に取り組んでいた。	総合20
鑑賞	3月	<ul style="list-style-type: none"> 共同制作した絵の鑑賞 卒業式の式場への展示 	完成した壁画を見た瞬間、歓声があがった。その後、相手国の描いた絵を一つ一つ真剣に見ていた。	総合2

■学習目標(つけたい力)と成果(ついた力)について教えてください。

「目標」先生が指導に当たって重視したことをABCで記入 (A:特に重視した B:重視した C:特に重視しなかった)

「成果」先生の手応え (5:とても身についた 4:身についた 3:どちらともいえない 2:あまり身につかなかった 1:身につかなかった)

学習目標・つけたい力	目標	成果	成果についてそう感じた場面・理由
自文化の理解	A	5	自分たちの地域のことを調べることで、今まで知り得なかったふるさとの良さを知ることができた。
異文化の理解	A	3	相手校の地域の様子をインターネットで調べたり、聞いたりすることで、自分たちの国との違うところ、似ているところを知った。
コミュニケーション力 (説明・共感・英語)	B	2	もっとテレビカメラ等を使って関わる時間を設けたらよかった。
情報活用能力 (情報収集・発信)	C	3	ビデオカメラや電子掲示板を使って、自己紹介や学校紹介をすることができた。
人間関係をつくる (学級内・交流相手)	A	4	学級のグループで協力して進めるとともに、相手校の自己紹介や掲示板の書き込みを見て、相手校の子を身近に感じていた。
協働する力 (役割分担・協力)	A	5	学級内で各係に分かれ、やるべきことを明確にしたことで取り組みやすくなった。また、グループの仲間で協力できた。
学習を追究する意欲	B	3	「○○をしたい」と強い意欲をもって取り組む児童が増えた。
表現力 (伝えたいことを絵で表す)	C	2	一人一人の表現力を身に着けることはできなかった。
作品を鑑賞する力	C	3	相手の絵から、相手の地域の情勢等を知り、思いをくみ取ることができた。一つの作品を作り上げたことに感動していた。